

# 石巻市自死対策推進計画 ～かけがえのない命 つながり、支えあい、生きる喜びを感じる 石巻～ 【計画期間：平成31～35年度】

○基本理念 **かけがえのない命を大切に、人と人がつながり、支えあい、生きる喜びを感じる石巻市を目指します。**



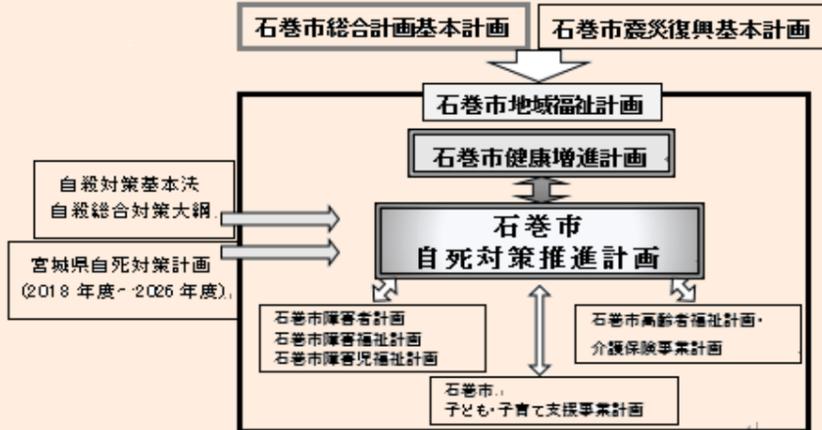
## 1 計画の概要

### 1 計画の趣旨

国は、自殺者数が毎年3万人を超える深刻な状況を受けて、自殺対策を強化するため平成18年に「自殺対策基本法」を制定した。自殺者数の年次推移は減少傾向にあるものの、いまだに2万人を超え、自殺死亡率は主要先進国の中で最も高くなっている。平成28年の同法改正により都道府県及び市町村に自殺対策の計画策定が義務付けられ、平成29年7月に閣議決定された「自殺総合対策大綱」では、「生きることの包括支援」を基本理念に、社会全体の自殺リスクを低下させ、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指すとしている。

本市においても全庁的な推進体制を構築し、関係機関及び関係団体等と連携を図り、自死対策を推進するために、新たに本計画を策定する。

### 2 計画の位置づけ



## 3 基本施策

国が定める基本施策に沿って、下記の5項目を基本施策として推進する。

- 基本施策1 地域におけるネットワークの強化**
  - (1) 関係機関・関係団体との連携の強化
  - (2) 地域における連携・ネットワークの強化
  - (3) 庁内における連携・ネットワークの強化
- 基本施策2 自死対策を支える人材の育成**
  - (1) 市民対象の研修の充実
  - (2) 職員・関係者等の研修の充実
- 基本施策3 市民への啓発と周知**
  - (1) こころの健康づくり・自死対策の啓発の推進
  - (2) 各事業を通じた啓発
- 基本施策4 生きることの包括的支援**
  - (1) 相談支援事業の充実
  - (2) 孤立を防ぐための居場所づくり
  - (3) 安定した生活のための支援の充実
  - (4) 自死を抑制する環境の整備
  - (5) 健康で暮らせるための体制づくり
  - (6) 遺族への支援
- 基本施策5 SOSの出し方に関する教育の推進**
  - (1) 全世代を通じたSOSの出し方の啓発
  - (2) 精神的ケア等が必要な方に対する個別支援の強化

## 4 重点施策

本市の優先的な課題となる下記の3項目を重点施策として推進する。

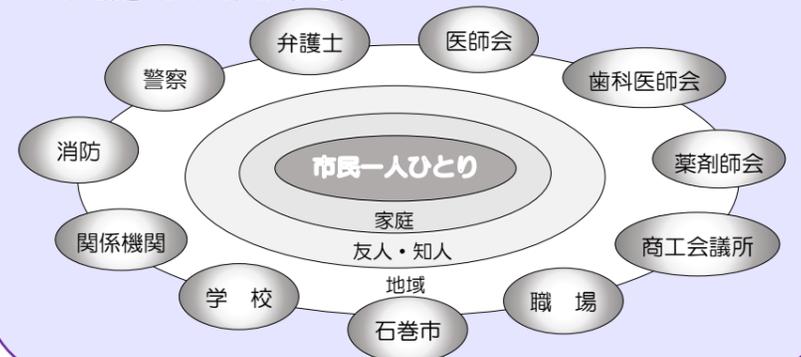
- 重点施策1 子ども・若者への支援強化**
  - (1) 子ども・若者の社会的自立・職業的自立に向けた居場所づくり
  - (2) 子どもと保護者のこころと体の健康づくりの推進
  - (3) 関係機関と連携した支えあいの仕組みづくり
  - (4) 相談支援の充実
- 重点施策2 働き盛り世代への対策**
  - (1) 生活上の困りごとや多様な問題を抱える方に対する個別支援の強化
  - (2) 働き盛り世代のための関係機関との連携強化
  - (3) 安心して働くことができる環境の整備
  - (4) こころと体の健康づくりの推進
- 重点施策3 被災者への対策**
  - (1) 孤立を防ぐ居場所づくり
  - (2) 関係機関との連携強化
  - (3) 生活の安定に向けた相談支援の充実

## 2 現状からみえる課題

- (1) 子ども・若者の課題**
  - 10歳代から30歳代までの死因の第1位が「自殺」となっている。
  - 全国・宮城県と比べて、小・中学生の不登校出現率が高い。
  - 日常生活における子育ての悩みや不安が多いのは、30歳代と40歳代となっている。
- (2) 働き盛り世代の課題**
  - 働き盛りである30歳代と50歳代男性の自殺者割合が高い。
  - 「自営業・家族従業者」の自殺者割合は34.9%（平成24～28年の合計数）で、全国割合の21.4%よりも高い。
  - ストレスの有無については、77.1%の方が「はい（ストレスがある）」となっている。
  - 悩みや不安の内容については、「仕事」が54.0%と最も高く、次いで「生活に係るお金のこと」が42.4%と高い。「家族の人間関係」が22.2%、「その他の人間関係」が25.4%となっており、人間関係について悩みを抱えている人が4割強となっている。年代別でも、20歳～50歳代で「仕事」が高い。
- (3) 被災者の課題**
  - <平成29年度石巻市復興公営住宅入居者健康調査概要より>
  - 独居世帯の割合（43.8%）が本市の独居世帯割合（29.9%）と比較しても高く、独居高齢世帯の割合（26.2%）も2倍以上高い。
  - 無職者の中で約2割が15～64歳の生産年齢となっている。
  - 入居の経過とともに、体調面や不眠、抑うつ状態等が悪化傾向にある。
  - また、「相談相手がいない」割合が増加している。

## 5 計画の推進

市民一人ひとりが安心して自分らしく暮らしていけるように、関係機関・関係団体と連携しながら「生きることの包括的支援」として推進する。



※石巻市では宮城県に準じて、遺族に配慮し法律の名称や統計資料を除き、「自殺」に替えて「自死」を使用しています。